

2022年3月期 通期 連結決算（補足説明資料）

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

<サマリー>

■ 前期比、増収増益。当期利益は前期比20%の増益。

◇収益	7,680 億円	18.3% 増収
◇営業活動に係る利益	293 億円	24.2% 増益
◇税引前利益	288 億円	22.0% 増益
◇親会社所有者帰属当期利益	160 億円	20.1% 増益

■ 23/3期見通しは、事業投資による利益貢献も見込み、前期比12.6%増の180億円。

1. 損益の状況

(単位：億円)	2021/3月期	2022/3月期	前年同期比		2023/3月期	
	通期	通期	増減額	増減率	見通し	前期比増減率
収益	6,491	7,680	1,188	18.3%	8,500	10.7%
売上総利益	1,015	1,118	103	10.1%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 789	△ 851	△ 62	-	-	-
その他の収益・費用	10	26	16	161.5%	-	-
営業活動に係る利益	236	293	57	24.2%	315	7.3%
利息収支	△ 17	△ 15	1	-	-	-
受取配当金	11	11	0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 2	△ 16	△ 14	-	-	-
金融収益・費用	△ 7	△ 20	△ 13	-	-	-
持分法による投資損益	7	15	8	109.7%	-	-
税引前利益	236	288	52	22.0%	320	11.2%
法人所得税費用	△ 73	△ 82	△ 9	-	-	-
当期利益	163	206	43	26.5%	-	-
親会社所有者帰属当期利益	133	160	27	20.1%	180	12.6%
1株当たり当期利益 (円)	159.44	191.42	31.98	20.1%	215.53	12.6%

【収益】

鉄鋼・素材・プラントセグメントや食料セグメントを中心に、1,188億円の増収。

【営業活動に係る利益】

鉄鋼・素材・プラントセグメントや食料セグメントを中心に、57億円の増益。

【税引前利益】

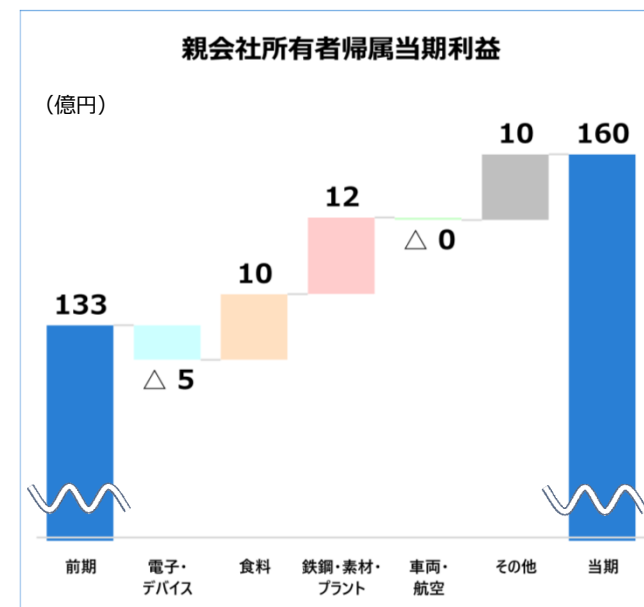
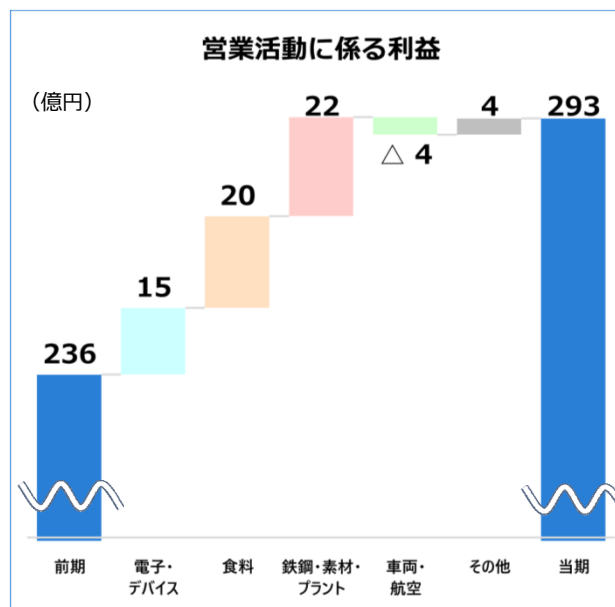
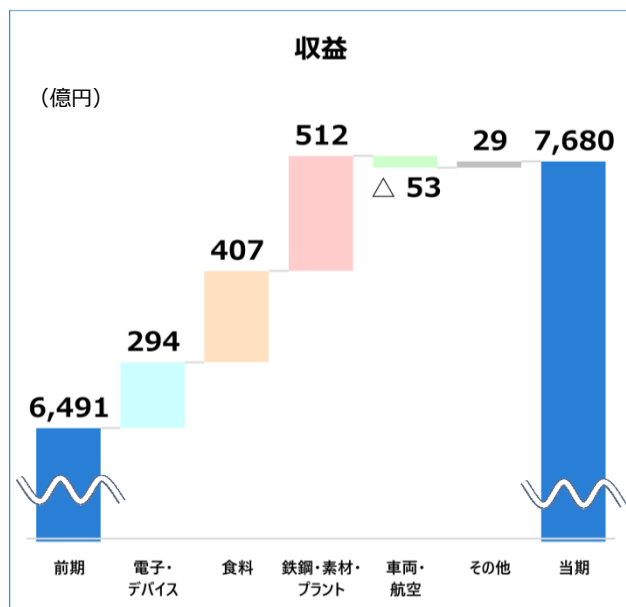
営業活動に係る利益の増加などにより、52億円の増益。

【親会社所有者帰属当期利益】

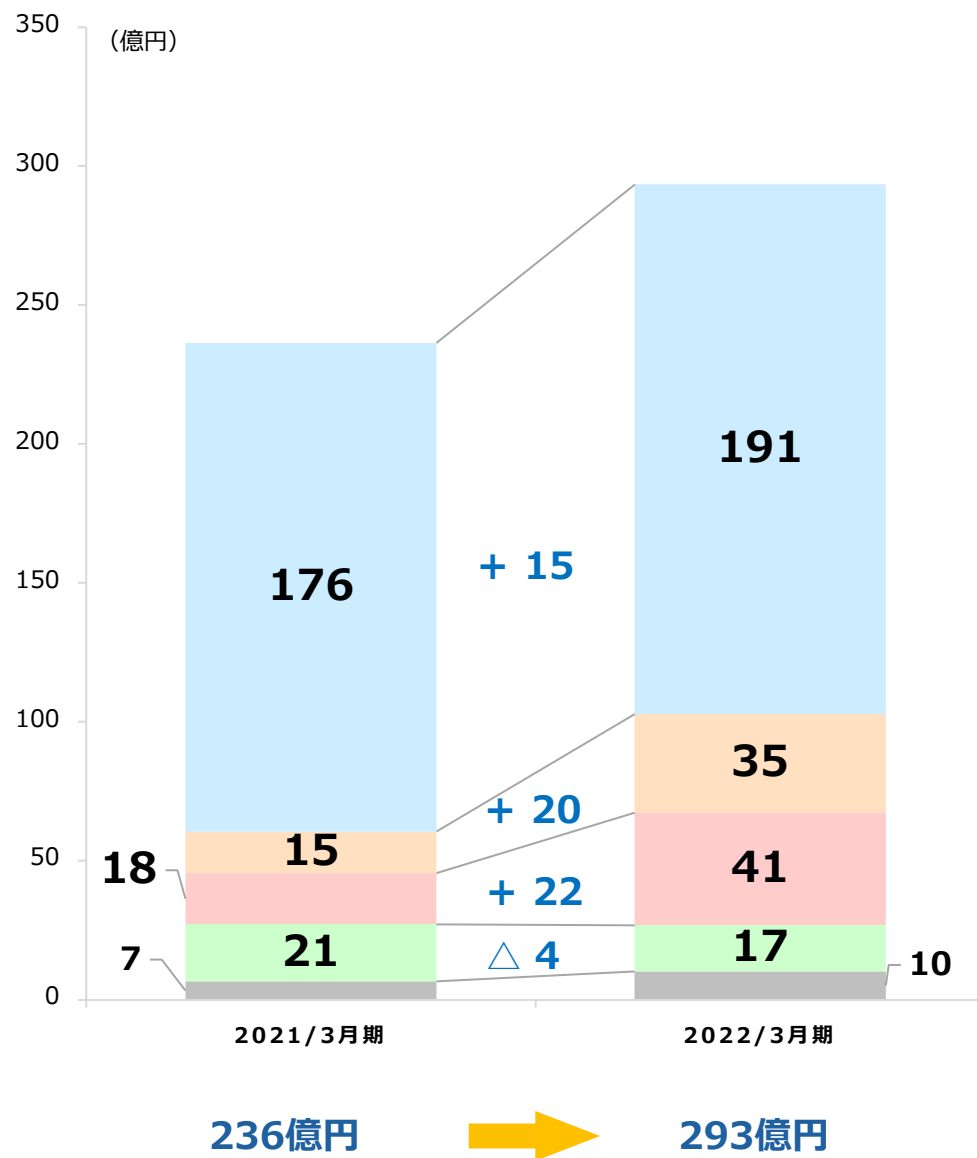
税引前利益の増加に伴い、27億円の増益。

2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2021/3月期 通期	2022/3月期 通期	増減	2023/3月期		2021/3月期 通期	2022/3月期 通期	増減	2023/3月期		2021/3月期 通期	2022/3月期 通期	増減	2023/3月期	
				見通し	前期比 増減率				見通し	前期比 増減率				見通し	前期比 増減率
電子・デバイス	2,261	2,555	294	2,800	10%	176	191	15	200	5%	85	79	△ 5	95	20%
食料	2,446	2,853	407	3,050	7%	15	35	20	36	2%	15	25	10	28	11%
鉄鋼・素材・プラント	968	1,480	512	1,700	15%	18	41	22	53	31%	21	33	12	39	20%
車両・航空	711	658	△ 53	800	22%	21	17	△ 4	17	2%	15	15	△ 0	15	3%
報告セグメント合計	6,386	7,546	1,159	8,350	11%	230	283	54	306	8%	135	152	16	177	17%
その他 (含む調整額)	105	134	29	150	12%	7	10	4	9	△12%	△ 2	8	10	3	△63%
総合計	6,491	7,680	1,188	8,500	11%	236	293	57	315	7%	133	160	27	180	13%



3. 営業活動に係る利益 <セグメント別増減>



前期比増減要因

【電子・デバイス】 **15** 億円 増益

ICTソリューション事業は、ネットワークセキュリティ関連のほか、ストレージ関連案件の増加などもあり好調に推移。モバイル事業は、ショップへの来店者数は回復するものの、コロナ禍での店舗支援金など手数料収入が減少したため低調に推移。半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を背景に車載向け半導体部品や半導体装置などの出荷が伸長し順調に推移。

【食料】 **20** 億円 増益

畜産事業は、畜産物全般の価格が大きく上昇し、外食関連販売で苦戦した昨年からの反動により大幅増益。食糧事業は、4Qでの相場急騰による評価損などにより低調に推移。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 **22** 億円 増益

鋼管事業は、エネルギー需要の回復を受け堅調に推移。工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた前期の事業環境から回復し順調に推移。エネルギー事業は、先物評価損が先行したため低調に推移。

【車両・航空】 **4** 億円 減益

航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあたり低調に推移。一方、車両・車載部品事業は、コロナ禍からの市況回復と円安により車載部品取引が順調に推移。

4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2021/3月期 通期	2022/3月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	154	△ 216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99	△ 105	△ 6
フリーキャッシュ・フロー	271	48	△ 222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 375	42	417

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	79	82	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	△ 82	△ 3

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどにより、154億円のキャッシュ・イン。
営業活動の回復・伸長や商品市況の上昇に伴い、運転資金が増加。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得や持分法適用会社への追加出資などの事業投資の実行により、105億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加や社債の発行などにより、42億円のキャッシュ・イン。

(単位：億円)	2021/3末	2022/03末	増減
総資産	5,575	6,345	770
グロス有利子負債（注1）	1,222	1,435	213
ネット有利子負債	405	512	107
自己資本（注2）	1,439	1,595	156
内、利益剰余金	781	893	112
内、その他の資本の構成要素合計	124	166	42

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

【総資産】

営業活動の回復・伸長や商品市況の上昇に伴う営業債権及びその他の債権や棚卸資産の増加などにより、770億円の増加。

【有利子負債】

短期借入金の増加などによりネット有利子負債は、107億円の増加。

【自己資本】

親会社所有者帰属当期利益の積上げおよび円安に伴うその他の資本の構成要素の増加などにより、156億円の増加。

自己資本比率は25.1%、ネットDERは0.3倍。

自己資本比率（注3）	25.8%	25.1%	0.7%下落
ネットDER（注4）	0.3倍	0.3倍	横ばい

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

5. 株主還元・資本効率

【配当】

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期(予想)
年間配当額/株 (円)	60	60	60	65	70
連結配当性向	30.3%	34.8%	37.6%	34.0%	32.5%

【当期利益・ROE・ROIC】

